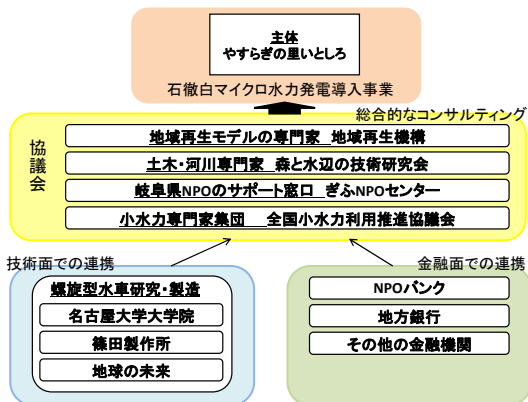


提案したモデル事業の目的

「岐阜県小水力利用推進協議会」の設立に向けた準備段階として、地域主体による小水力発電の導入を、金融面・技術面の両面からサポートする地域連携システムを構築すること

提案したモデル事業の実施体制



提案したモデル事業の概要(具体的な実施事業)

<事業の背景>

- 小水力発電は、降水量が多く、急峻な地形を持つ日本にふさわしい再生可能エネルギーである
- 包蔵水力量が日本一である岐阜県では、地域で小水力発電を導入したいと考えている主体は多いが、現時点では、小水力発電導入を総合的にサポートできる組織はまったく存在しない
- 2005年には全国小水力利用推進協議会が設立され、山梨・富山・長野では、県ごとに小水力発電導入をサポートする協議会が設立された。しかし、いずれの協議会も技術的なサポートが中心となっており、資金調達や事業組織の検討サポートを行なう体制は構築されていない
- 岐阜では、技術面のみならず、金融面のサポートも行うことのできる「岐阜県小水力利用推進協議会」を、2009年に設立することを目指している

<具体的な実施事業>

地域での小水力発電導入を検討している地域主体(=やすらぎの里いとしろ)に対して、金融面・技術面でのサポートを実証実験的に行うことにより、下記の検討項目を明らかにする

- 検討項目1) 地域での小水力発電導入の際、地域密着型CFのあり方・資金調達のあり方・事業推進体制のあり方について、複数のオプション(可能性)を明らかにする
- 検討項目2) その中で、今回のサポート対象地域である石徹白地域では、どのオプションが最適であるかを明らかにする
- 検討項目3) 同時に、小水力発電に関する技術情報・制度情報を収集整理し、石徹白地域で必要な技術サポートを明らかにする
- 検討項目4) 上記三項目の検討を通じて、地域での小水力発電導入を検討している地域主体に対する、金融面・技術面での、あるべきサポート体制・サポートメニューを確立する

CB支援における実績・スキル・リソース

	実績	スキル・リソース
地域再生機構	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県に対する政策提言 岐阜県事務事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な地域再生デザイン
森と水辺の技術研究会	<ul style="list-style-type: none"> 石徹白マイクロ水力発電調査実験事業技術支援 	<ul style="list-style-type: none"> 土木・河川の技術・法律に関する知見
ぎふNPOセンター	<ul style="list-style-type: none"> 石徹白マイクロ水力発電調査実験事業の実施 公益信託ぎふNPOはつらつファンドの業務委託での運営 県内のNPOの設立支援 	<ul style="list-style-type: none"> 県内NPOの総合的ネットワーク ファンド運営
全国小水力利用推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 全国各地での小水力発電導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> 小水力発電に関する技術・法律に関する知見

スケジュール

8月～9月:ステップ1

事例調査・現状リソース分析
 ⇒サポート体制・メニュー原案検討

- 山梨・富山・長野での水力協のサポート体制、現状での小水力発電に対する資金調達方法の調査
- 再生可能エネルギーに対するコミュニティファンドの先進事例の調査 及び 意見交換
- 岐阜県内の現状のリソースを分析
- あるべきサポート体制・サポートメニューの原案を作成

10月～1月上旬:ステップ2

石徹白地域に対するサポートを通じた検討

地域密着型CFのあり方・資金調達のあり方・事業推進体制のあり方について、複数のオプションを明らかにする。その中で、石徹白地域では、どのオプションが最適であるかを明らかにする。同時に、技術調査を行い、技術面でのサポートも行う

1月下旬～2月:ステップ3

サポート体制・サポートメニュー最終取りまとめ

ステップ2の実証実験を踏まえて、あるべきサポート体制・サポートメニューを決定する
 ↓
 2009年3月以降、検討結果を踏まえた岐阜県小水力利用推進協議会を設立